

# 第73回結核予防全国大会研鑽集会

## シンポジウム

低まん延 新たな目標に向かって  
～2025年罹患率7を目指して

# 新型コロナウイルス感染症の 流行の現状とこれから

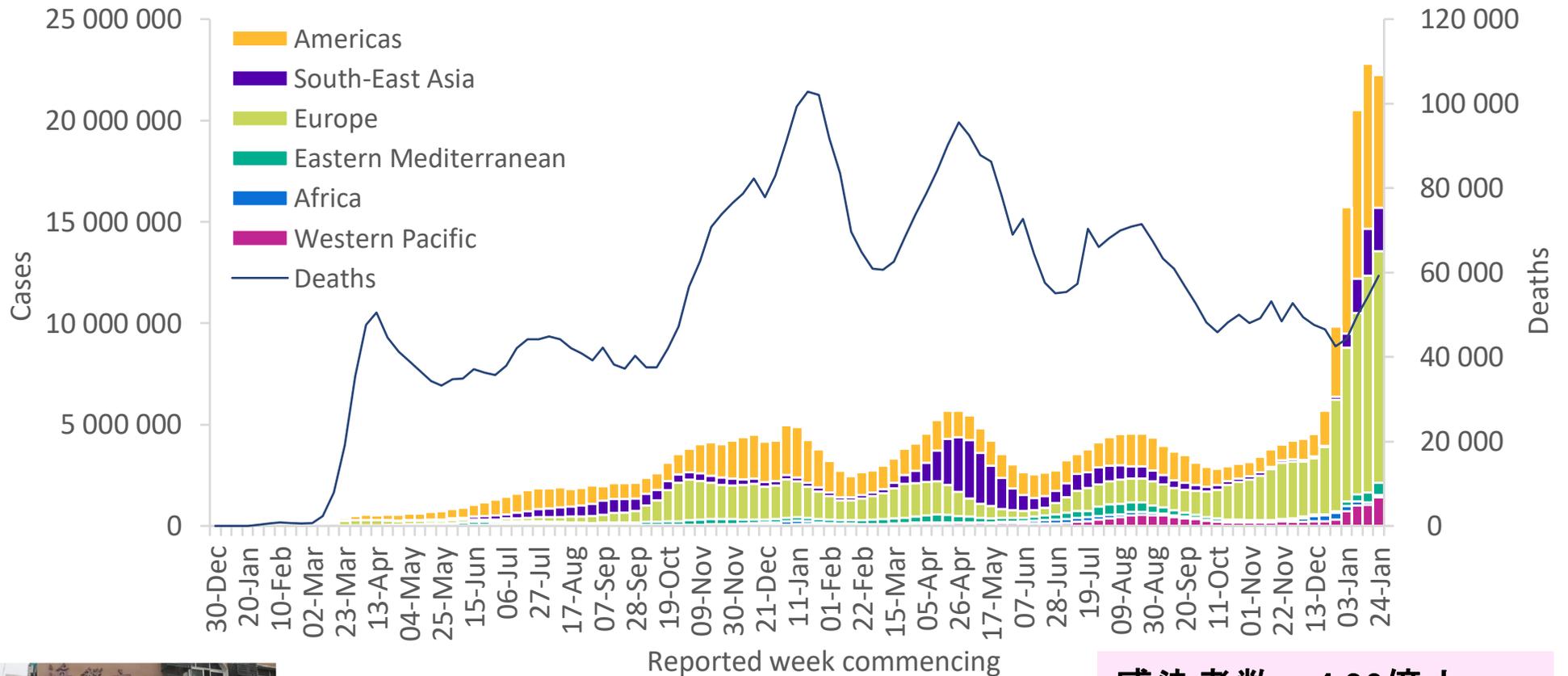


川崎市健康安全研究所  
岡部信彦  
令和4(2022)年3月8日



# 新型コロナウイルス感染症の週別報告数

as of 30 January 2022



**感染者数** 4.26億人  
**死亡数** 589万人  
**致死率** 1.38%  
 (2022.2.21)



The World Health Organisation says it has spoken to the Chinese government about the outbreak. Photo: Yangtze Daily

<https://www.who.int/publications/m/item/weekly-epidemiological-update-on-covid-19--1-february-2022>

**~2022.2.21**

**感染者数: 454万5千人**  
**死亡者数: 22,017人**  
**致死率: 0.48%**

**~2020.12.15**

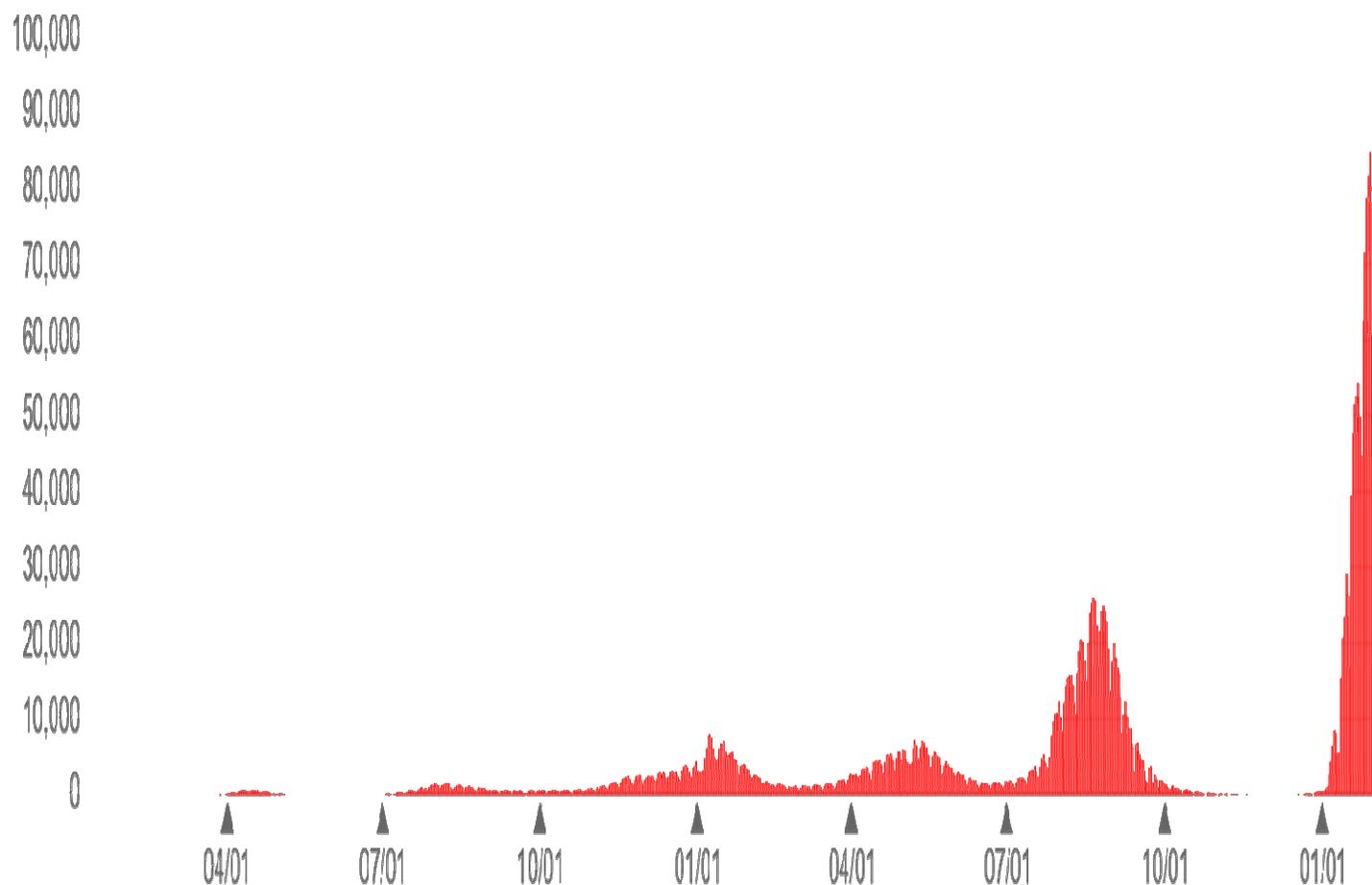
**感染者数 18.1万人**  
**死亡者数 2,642人**  
**致死率 1.46%**

**~2021.12.24**

**感染者数 173.2万人**  
**死亡者数 18,386人**  
**致死率 1.06%**

**2022.1.2~2.21**

**感染者数 276.3万人**  
**死亡者数 3,408人**  
**致死率 0.12%**



# 主な感染症のインパクト

エイズ 年間150万人発生 死亡68万人 (2020)

結核 年間1000万人発生 死亡141万人 (2019)

マラリア  
年間2.3億人発生 死亡41万人 (2019)

## 季節性インフルエンザ

年間人口の10~20%が罹患 (80億 $\times$ 0.2=16億)

死亡29万1000人~64万8000人

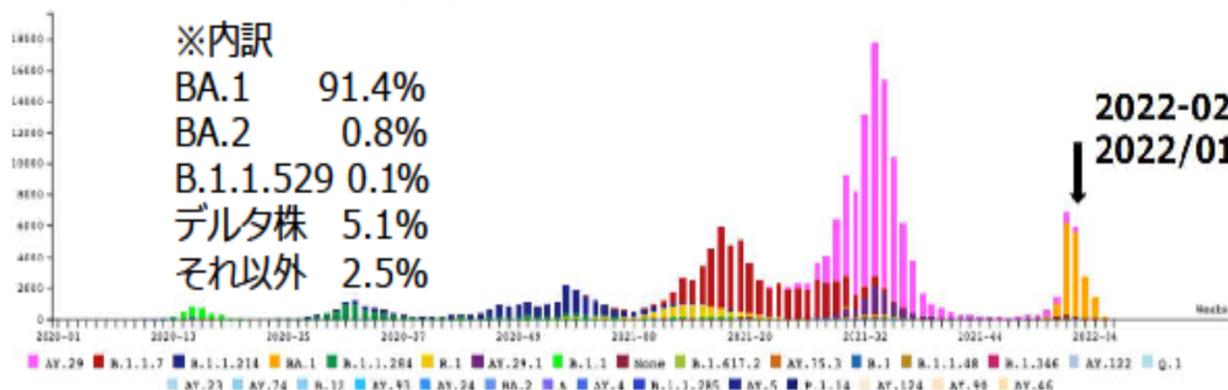
新型コロナ 1.14億人発生 死亡者 253万人 (~2021.2.27)  
4.12億人 582万人 (~2022.2.13)

# 国内のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況

機密性1  
(公開情報)

## 国内 新型コロナゲノムの PANGO lineage 変遷 (2022/02/10 現在)

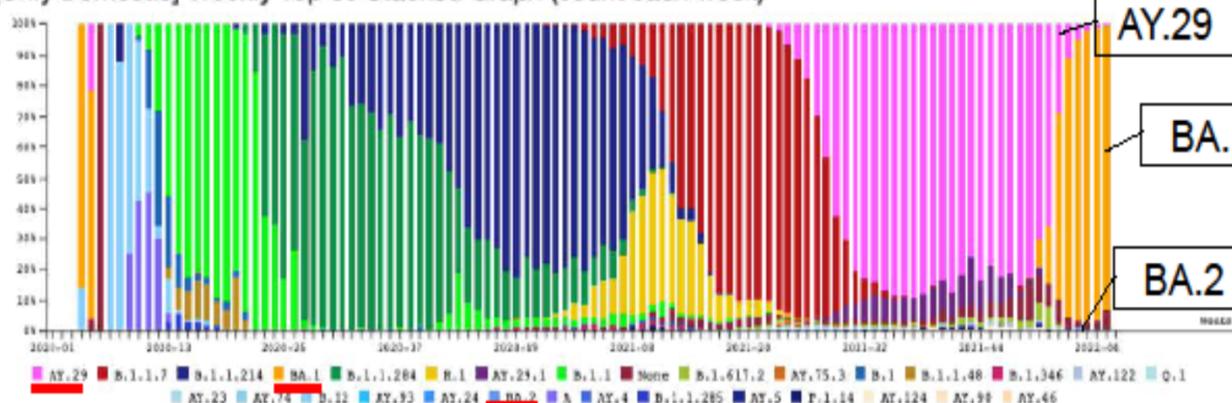
[Only Domestic] Weekly Top 30 Graph (count each week)



None: Not available correct PANGO lineage with low sequence quality because of low viral RNA load.

(ウイルス量が少なくゲノム情報が不十分であり正確に PANGO 系統を判定できない対象)

[Only Domestic] Weekly Top 30 Stacked Graph (count each week)



None: Not available correct PANGO lineage with low sequence quality because of low viral RNA load.

(ウイルス量が少なくゲノム情報が不十分であり正確に PANGO 系統を判定できない対象)

2022-02	
AY.29	298
B.1.1.7	0
B.1.1.214	0
BA.1	5404
B.1.1.284	0
R.1	0
AY.29.1	1
B.1.1	0
None	147
B.1.617.2	4
AY.75.3	0
B.1	2
B.1.1.48	0
B.1.346	0
AY.122	1
Q.1	0
AY.23	0
AY.74	0
B.12	0
AY.93	0
AY.24	0
BA.2	48
A	0
AY.4	0
B.1.1.285	0
AY.5	0
P.1.14	0
AY.124	1

厚生労働省 2022年2月16日掲載 [ [Link](#) ]

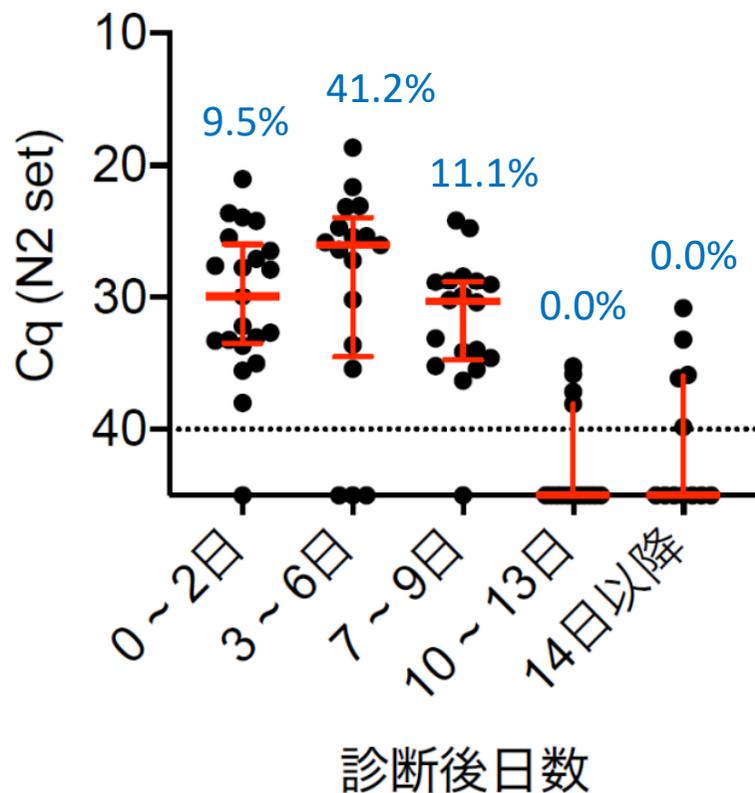
## 【オミクロン株の特徴】

- ・病原性：デルタ株に比べて低いという情報が多くなっている
- ・感染伝播性：デルタ株に比べて高い伝播性(3~4倍)
- ・倍加時間：直近7日間のデータを用いた倍加時間は大阪府、沖縄県ともに2日未満(1月6日ADB資料より)
- ・ウイルス排出期間：診断・発症から7-9日間、症状改善から2日間
- ・**BA.1系統、BA.2系統、BA.3系統**が位置付けられており、**現在の世界的な主流はBA.1系統**である。国内での検出もほとんどがBA.1系統であるが、**検疫ではインド、フィリピンに渡航歴がある者からBA.2系統が検出されている**。国外では、デンマーク、フィリピン、インド等でBA.2系統が占める割合が増加している。

# オミクロン株症例におけるCq値の日数別推移

A

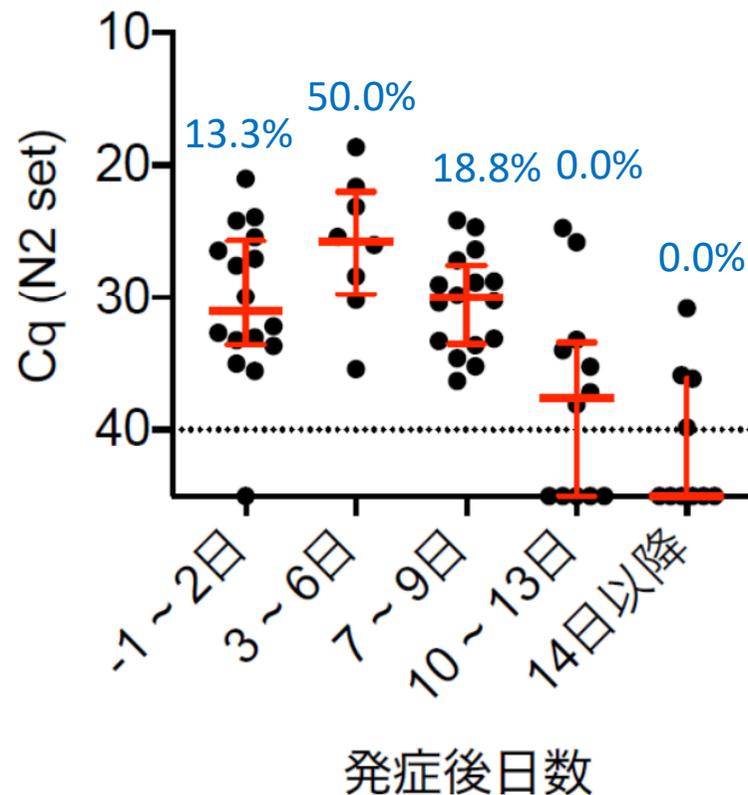
オミクロン株感染者  
診断後日数別PCR結果



B

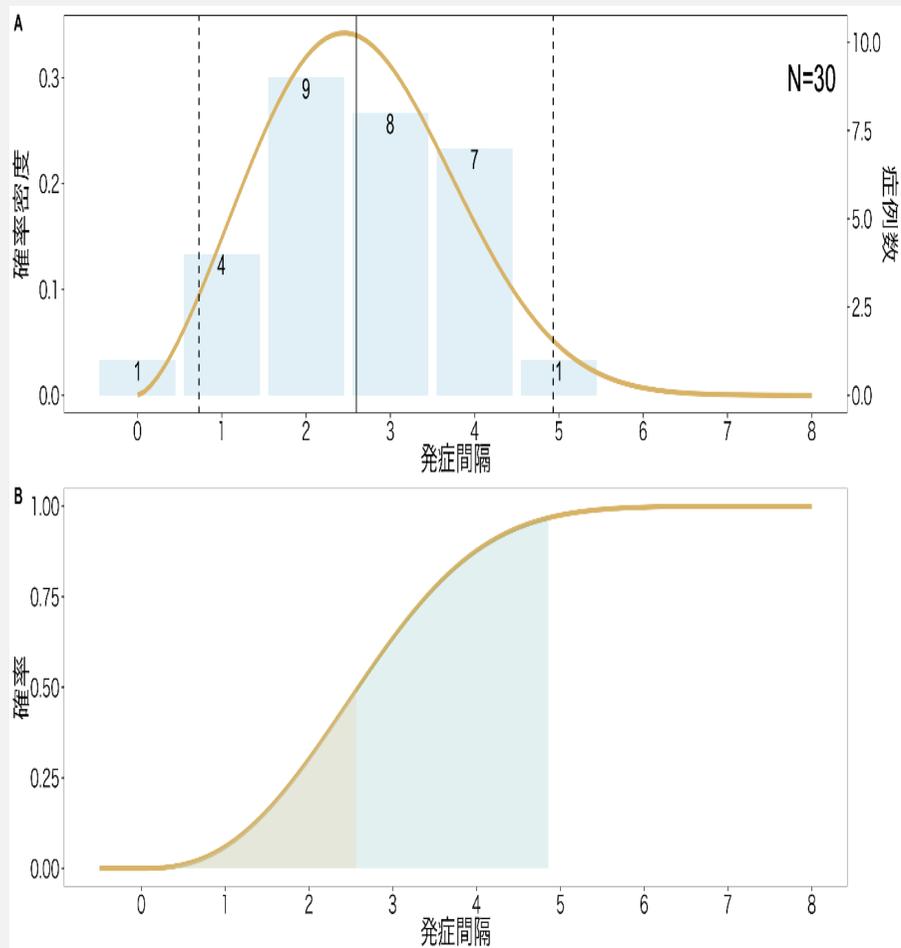
全例が2回以上のワクチン接種済み

オミクロン株感染者  
発症後日数別PCR結果



ブルー:分離可能検体割合

SARS-CoV-2 B.1.1.529系統(オミクロン株)感染による新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査(第1報):  
 感染性持続期間の検討 令和4年1月5日 国立感染症研究所国立国際医療研究センター 国際感染症センター  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2484-idsc/10880-covid19-66.html?fbclid=IwAR2q0LcQlnhYvCeYsx7RQ8F7XLmR-dAbWgcv1qigi4fiDFieKqAB1grZQXw>



表：一次感染者の発症日から二次感染者が発症するまでの日毎の確率(%)

日数	確率 (%)
1日	6.03
2日	30.32
3日	63.63
4日	87.75
5日	97.53
6日	99.72
7日	99.98
8日	100

図：実地疫学調査のデータを用いたオミクロン株の(A)発症間隔の分布と(B)累積分布(N=30)

発症間隔の単位は日。図Aにおいて実線は中央値、波線は左から2.5%、97.5%点を示す。グラフ内の数字はそれぞれの感染ペア数を示す。図Bにおいて薄茶色は50%、薄水色は97.5%区間を示す。0日は0.5日扱いとした

感染研：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/10952-b11529-si.html>

# • Non-pharmaceutical Intervention

医薬品によらない介入

三密を避ける

マスク、手指衛生

ソーシャルディスタンス



# • Pharmaceutical Intervention

医薬品による介入

ワクチン



## 2. 本日の論点

# 新型コロナワクチンの有効性の経時的推移について

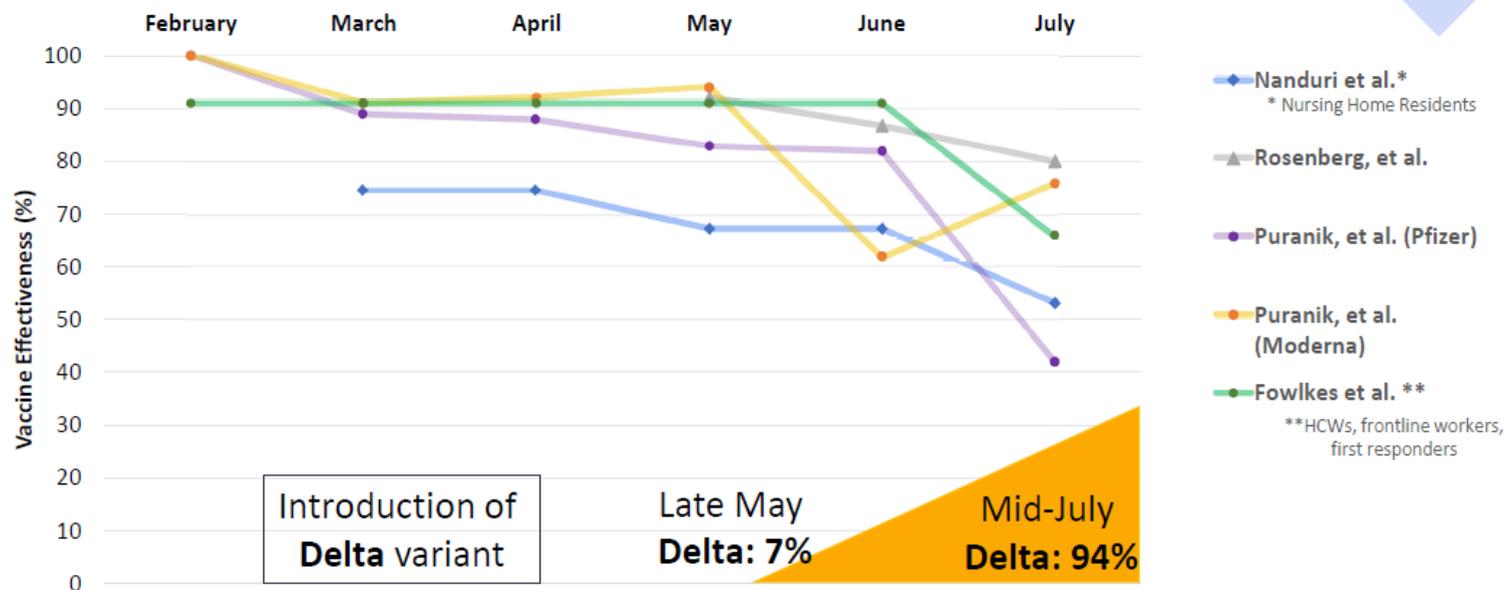
新型コロナワクチンの有効性については、経時的に減少する可能性が指摘されている。

出典：ACIP Meeting August 30, 2021

Framework for booster doses of COVID-19 vaccines

## Booster doses of COVID-19 vaccines: Vaccine effectiveness against infection

Public Health Problem



Rosenberg ES, Holtgrave DR, Dorabawila V, et al. New COVID-19 Cases and Hospitalizations Among Adults, by Vaccination Status — New York, May 3–July 25, 2021. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. ePub: 18 August 2021.  
 Nanduri S. Effectiveness of Pfizer-BioNTech and Moderna Vaccines in Preventing SARS-CoV-2 Infection Among Nursing Home Residents Before and During Widespread Circulation of the SARS-CoV-2 B.1.617.2 (Delta) Variant — National Healthcare Safety Network, March 1–August 1, 2021. MMWR Morbidity and Mortality Weekly Report. 2021 2021;70.  
 Fowlkes A, Gaglani M, Groover K, et al. Effectiveness of COVID-19 Vaccines in Preventing SARS-CoV-2 Infection Among Frontline Workers Before and During B.1.617.2 (Delta) Variant Predominance — Eight U.S. Locations, December 2020–August 2021. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. ePub: 24 August 2021.  
 Puranik A, Lenehan PJ, Silvert E, et al. Comparison of two highly-effective mRNA vaccines for COVID-19 during periods of Alpha and Delta variant prevalence. medRxiv 2021.08.06.21261707.

# どうなると with Corona か

呼吸器感染の原因は多い

いずれも重症になることが多い、**ことに高齢者にとって命取りになる** 例：インフルエンザ、肺炎球菌性肺炎  
若者、小児にとっても侮れないことがある

早期診断（早い簡便な検査）ができる

**どの程度の発生であれば、注意をしながら、通常に付き合えるか、致死率が今の半分以下～1/10になれば・・・**

↓

出来るだけ広げない工夫、人への気遣い

重症者（重症になりそうな人）に適切な医療、（医療の役割分担）

軽症者は外来治療へ（医療は医療機関、公衆衛生は保健所）

通常医療の維持 ができている

ワクチンの普及、治療の進歩

↓

**注意をしなくても普通の生活ができる、のではなくて**

**注意をすれば普通の生活ができる**

# 感染症の予防及び感染症の患者に 対する医療に関する法律

平成11(1999)年4月施行

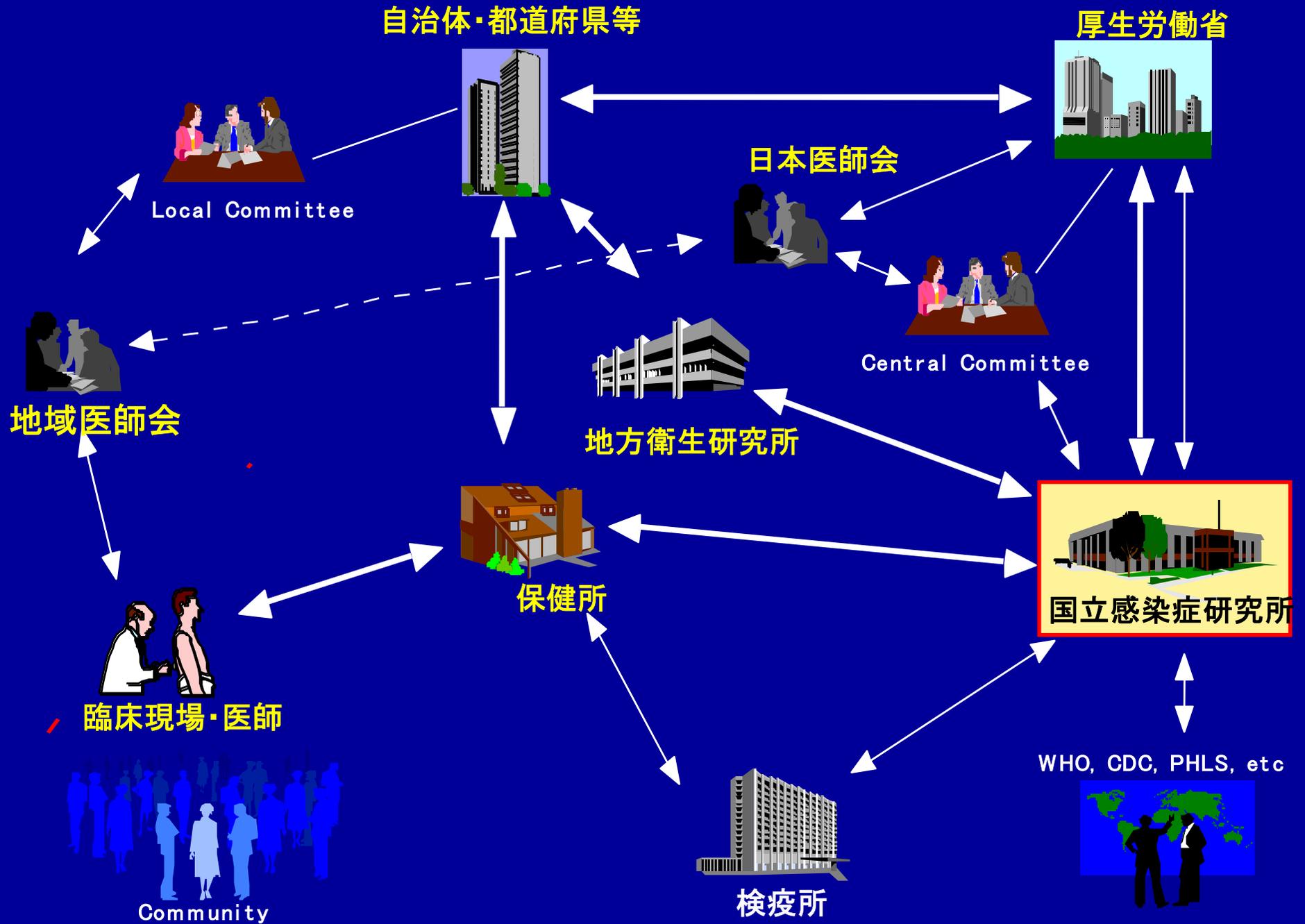
伝染病予防法(1897-明治30-年制定)を廃し、感染症の発生予防、まん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る

らい予防法 → 廃止

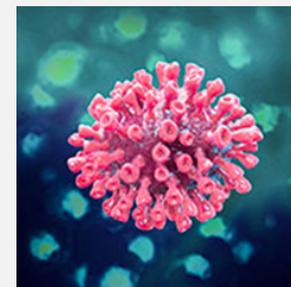
エイズ予防法・性病予防法 → 感染症法

結核予防法 → 感染症法・二類感染症(2007.4)

# 我が国における感染症サーベイランスネットワーク



- **急性感染症と慢性感染症**が同じカテゴリーとしてサーベイランス、対応でよいか  
(結核、HIV/AIDS、ウイルス肝炎、梅毒・・・)
- **不明疾患**の対応がこれでよいか  
(急性脳症、急性胃腸炎、疑似症サーベイランス  
.....)
- **新たな感染症発生**に対して、感染症法、新型インフルエンザ等特別措置法で十分か



我迷惑!!

差別・偏見  
誹謗・中傷



ウイルスが嫌うのは  
「人のやさしさ」です

人への思いやりが  
ウイルスをやっつけます



岡部信彦